

maturity

マチュリテイ

2026-JAN

122

いきいきシニアライフ

公益社団法人 日本産業退職者協会
(略称 JARP)



SDG s の取り組み

負の遺産を子どもたちに残さない

JARP

いきいきシニアライフ

公益社団法人 日本産業退職者協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-17-13 TMYビル 10F
 TEL 03-6240-9381 FAX 03-6240-9382
 URL <https://jarp.or.jp/> E-mail jarp@isis.ocn.ne.jp

身近な自然の竹や木、あるいは廃材を利用したおもちゃを手作りし遊びます。また、海や川の清掃活動も行っています。自然の恵みや環境の大切さ、あるいは手作りの面白さを知ってもらい、自然と共生する社会を目指していきたくと願っています。

参加することで生きがいを感じていただけるよう、活動の場を提供していきます。

<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>教育の場で、子供たちの健全な育成と学習に役立つ、竹とんぼなど自然素材や廃材を利用したおもちゃの手作り工作や環境保護活動を提供し、子供たちが楽しみながら学べる機会を作ります。</p>	<p>竹とんぼ</p>	<p>ガリガリヘリコプター</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>地域社会で、多くの人が集まりやすい手作りのコミュニティーを創り、地域の共助の空間を作ります。</p>	<p>バランスとんぼ</p>	<p>トコトコ人形</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>買い与えるのではなく、工夫し工作する喜びを子どもたちに伝えます。</p>	<p>歩け歩け</p>	<p>体操小僧</p>
<p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>石油に由来する材料を使わず、廃品を活用して地球環境の大切さを訴えます。NPO 法人と協働で海や川の清掃活動を行います。</p>	<p>海岸プラ清掃 (協働)</p>	<p>廃材活用タグボート</p>
<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>企業、学校、介護施設や各種団体の皆さんと協働してSDG s活動を推進します。私たちはこれまで、区と連携した認知症予防活動や学校と協働で竹とんぼ教室などを行ってきました。これからは、さらに企業研修や地域おこしなど皆様と共にSDG s活動を推進していきたくと願っています。</p>		

目次 maturity 2026年／第122号

年 頭 所 感	新年のご挨拶	塩山 哲郎	2
	前田晃伸元会長「旭日大綬章」受章		4
社会貢献活動	「いきいきシニア塾」の開催	西村 康治	4
	きたざわサロン15周年に想う	安藤 隆夫	7
ふれあい トークサロン	〈第52回〉「液状化する」世界をタフに生きる —日本のリーダーシップを磨く6つのポイント—	木村 伊量	9
	〈第53回〉文楽の楽しみ方	吉田 玉男	
		吉田 純子	12
個人会員親睦会	「はつらつふれあいの集い」	伊藤 春江	15
マチュリティ 談話室	最近思うこと	飯田 吉辰	18
	「日本百名山」と私	仲田 博人	18
	85歳と生きる	福島 龍郎	19
	ゴルフ徒然なるままに	篠田 猛	20
	心を繋ぐ贈り物	粟屋 悦子	20
	流行という名のバス	山本 胖	21
ひとこと	「我が家のペット」		22
	太田稔久／石川義明／三野晶代／石井 憲 湯藤 哲／比留間文子／後藤憲子／佐々木由紀子 荒谷ハツエ／下桶英夫／鈴木あつ子		
同好会だより	銀座カラオケ会／鎌倉探訪／男声合唱クラブ		24
地域会・ 広島支部だより	神奈川会／埼玉会／西東京会／京葉会／広島支部		25
法人・団体会員名簿／役員名簿／編集後記			

表紙写真 『睡蓮花・大船フラワーセンター』末廣潔道（神奈川会）
裏表紙 田中英司（埼玉会）／出射義幸（西東京会）
芦村健治（広島支部）／末本洋一（広島支部）

年頭所感

新年のご挨拶



公益社団法人 日本産業退職者協会

理事長

塩山哲郎

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本協会の諸活動に対し温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、社会全体が新しい時代への転換を実感する1年でした。デジタル化や働き方の変化が加速する中で、私たち高齢者世代も「経験と知恵を生かして社会に貢献する」ことの重要性を改めて感じた年でもありました。

本協会におきましても、ボランティア活動、地域会活動、講演会などを通じ、会員相互の絆を深めるとともに、社会とのつながりを再認識する機会を重ねて参りました。これもひとえに、会員一人ひとりのご尽力の賜物であります。

本協会はシニアの生きがいと、心身の健康をサポートすることを目的としており様々な事業活動に取り組んでおります。

昨年の主な事業活動をご報告いたします。

・「チャリティコンサート」

1月18日、協会創立40周年記念チャリティコンサートを銀座ブロッサムホールで開催し、東京善意銀行を通じて福祉施設関係者を100名招待しました。

・認知症予防活動「きたざわサロン」

本協会の代表的な社会貢献活動で昨年6月に15周年を迎えました。8月を除き毎月開催しており、12月で通算140回となりました。

・「いきいきシニア塾」

いきいきと人生を過ごすための情報

提供をキャッチフレーズに隔月6回開催、会員のニーズに合った「テーマ」とふさわしい講師を招き毎回好評でした。

・「ふれあいトークサロン」

専門家や有識者が講師となり年4回実施しました。

2月三沢清先生「日本経済の現況とこれからの投資戦略」、4月伊藤公明先生「様々なタイプの世界遺産」、7月元朝日新聞社社長木村伊量先生「『液化化する世界』をタフに生きる」、11月人間国宝二代目吉田玉男師匠、文化庁吉田純子先生の解説で「文楽の楽しみ方」が開催されました。これまでにない100名前後の多数の方々ご参加頂いた講演会もあり、これは魅力ある講師をお招きした事に加え、会員間の声かけが徹底できた賜物であります。

・「SDGs 協働事業」

- ① 6月法人会員(株)二友組東京支社・協力会社合同の安全大会において協力強化支援↓竹とんぼ、SDGs チラシを参加者に配布しました。
- ② 手作りおもちゃを使った生涯学習 ↓7月鎌倉市大船小学校、9月西東京市東小学校、9月大和市柳橋小学校、11月川崎市土橋小学校で実施しました。
- ③ 11月神奈川県青少年センターにて

伝統文化こども歳時記↓竹とんぼ工作等科学の芽生えの促進を図りました。

・「はつらつふれあいの集い」

11月12日パセラグレースバリ秋葉原店で開催し、新入会員7名を含む60名が出席しました。会員で構成された男声合唱団「フェローチェ」の特別出演に加え、カラオケ等会員間の親睦を深めました。

私たち会員は、長年にわたり社会の発展を支えてきた貴重な経験と知恵を持っていきます。退職後もその力を活かし、地域社会の一員として積極的に社会参加を続けることが、これからの時代に求められています。

昨年ノーベル化学賞を受賞された北川進京都大学教授は、次世代に伝えたいことは「幸運は準備された心に宿る」と語られ、挑戦する姿勢の重要性を強調されました。又、研究の成果はチームワークの力で成しえたと話されました。本協会の活動にも相通ずる言葉だと思います。

重点課題

第1 新規法人会員の開拓と個人会員の拡大強化

- ① 我が国の産業の変化に対応した業種及び規模を見直し、サービス産業や小規模団体の法人会員加入促進を目指します。
- ② 昨年に引き続きSDGs協働事業を通して新規法人の開拓を目指します。
- ③ 協会のイベント、サークル活動、地域会活動との連携による会員獲得を目指します。

第2 フレイル防止活動の推進

厚生労働省の発表によると2030年に高齢者の14%にあたる7人に1人が認知症患者になるとの予測です。1947年〜49年生まれの団塊の世代が全員、75歳以上の後期高齢者となり高齢化社会が進んでおります。高齢者の孤立や孤独を防ぐためにも、社会参

加活動で人とひとが関わり合う機会を増やす必要があります。社会参加することで心の豊かさや生きがいを得られ、「フレイル防止」に繋がります。本協会として今まで以上に魅力あるイベント・サークル活動を企画・推進して参ります。

第3 同好会の活性化・新設の推進

シニアに社会参加と生きがいの場を提供する有力な手段の一つに同好会があります。関東地区は同好会の活性化と新設を目標に掲げ、設立に向け具体的に行動・実行に移して参ります。

広島支部は同好会が活発に活動しており、その効果もあつて新会員の拡大に繋がっています。なお一層の拡大を期待しております。

第4 持続可能な協会運営

- ① 各種規定・内規(理事の年齢制限等)の見直しを図ります。
- ② 各種イベントの費用は原則参加費で賄っており、引き続き参加費を有効活用し、経費節減に努めます。

2026年が会員の皆様にとって健康で実り多い一年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに協会活動への一層のご理解とご参加をお願い申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

前田 晃伸 元会長

旭日大綬章を受章



日本産業退職者協会の会長を務められた、前田晃伸氏が秋の叙勲にて旭日大綬章を受章されました。

前田晃伸氏は、2017年に当協会の第5代会長に就任され、2020年迄、3年間にわたり社会貢献活動の取り組みに対し、ご理解とご尽力を賜りました。

みずほフィナンシャルグループ社長・会長を歴任され、全国銀行協会会長、国家公安委員会委員にも就任されました。

また、当協会の会長在任中に、第23代日本放送協会会長にも就任されるなど、要職を歴任されておりますが、「指名されれば全力でやるのが私の主義。」と語られ、当時の会見では報道陣に向かい「言っていることがおかしいと思ったら、すぐ辞めるという記事を書いてください。すぐに辞めますから。早めに言っていたください。」と発言し周囲を笑わせたという逸話も残されています。

この度の受章では、「この榮譽を大きな励みとし、今後も社会の発展の為、なお一層精進していく所存」とコメントされています。

「いきいきシニア塾」の開催

事業開発委員長 西村康治

2023年9月21日に「明日をいきいきと生きるために」をテーマに第1回を開催以来おかげさまで14回目まで開催することができ厚くお礼感謝申し上げます。

高齢者に必要なテーマを、皆さんと一緒に話し合うことを基本方針としていますので、テーマのご希望がございましたら遠慮なくお寄せください。

今回は第12回からご報告いたします。

第12回は、7月10日京華スクエアに28名の方にご参加いただき「スマホ使い方教室」LINEが味方になる！」をテーマに開催しました。

講師は株式会社信東社の市村愛梨香さま他3名の方々で、今さら聞けないような超基本的な事柄について丁寧にご説明いただきました。

スマホはSmart（賢）なPhone（電話）を組み合わせたもので、パソコンのような多

機能を持ち、画面全体がタッチパネルになっており、指で操作するものとの説明から始まりました。

第1部はスマホを知ろう！をテーマに①「スマホの種類」はiPhoneとAndroidの2種類があることとその違いなど②「スマホの基本用語と機能」として、タップ、スワイプ、ピンチなどの操作、画面構成、便利な機能と設定方法やQRコードの読み取り等の説明がなされました。③「安全な使い方」として、安全で覚えやすいパスワードを設定し定期的に変更すること、詐欺メッセージについては



知らない発信者からの不審なリンクは開かないこと、アプリは公式ストアから必要なアプリだけインストールするなど④「迷惑メールの事例紹介」ではAmazonやクレジットカード関連や公共料金関係は迷惑メールの可能性が高いこと。不審な発信元や不自然な日本語などで見分けるといった説明がありました。

第2部はLINEを使いこなそう！をテーマに①LINEのインストールから、友達登録、メッセージの送信、写真の送信と保存、通話（ビデオ通話も）をはじめグループ作成、スケジュール管理まで行いました。②

「無料おすすめアプリ」として、財布代わりにモバイルPASSMO、NHKニュース防災、タクシーを呼ぶためのタクシーGO、食材宅配、買い物支援系アプリとして「コープデリ宅配」、電子版お薬手帳として「お薬手帳3.0」など紹介がありました。

今回は超初級編として限られた時間でしたが、講師およびスタッフによる十分な準備と運営により参加者のスマホに対する理解が大いに深まったと思われます。

実際に使ってみるといろいろ疑問が出てくると思われますので第二弾を検討しています。皆様のご要望をお寄せください。



第13回は「日本の温泉の基礎知識とおすすめ温泉地の楽しみ方」をテーマに9月11日に開催しました。講師は一般社団法人日本温泉協会事務局で季刊誌「温泉」の編集をしておられる高橋祐次様にお願いしました。

温泉と一口に言っても地学はじめ歴史・文化、観光学や文学と多岐にわたっています。文学では有名な「伊豆の踊子」「雪国」などがありますが学生はほとんど知らないようです。

本日は温泉の基礎知識とおすすめ温泉地の楽しみ方についての講演となりました。

1 温泉とは何か

温泉の成因は①地表に降った雨や雪が地中

に染み込んで地下水となりマグマ溜まりで温められたものが湧出した火山性温泉②地下水が地熱に温められた非火山性(深層地下水型)温泉③地殻変動で海水(淡水)が地中に閉じ込められた非火山性(化石海水(淡水)型)温泉に分類される。関東平野の温泉はこのタイプが多く、いつか枯渇するとのこと。

我が国では温泉法で温泉が定義づけられている。各種イオンなど19の成分の内一つが基準値以上であれば冷たくても温泉であり、あるいは地中から湧出した源泉の温度が25度以上あれば成分がなくても温泉に該当する。

2 おすすめの温泉地

① 熱海温泉は徳川将軍家に愛され、江戸城まで温泉を運ばせた歴史があり「徳川将軍の御汲湯(おくみゆ)」として栄えた。江戸城まで109kmを15時間ほどで運び、

お城に着く頃には良い湯加減になっていたと言われている。熱海温泉では「湯株」と呼ばれる特権地位を得た。

② 草津温泉はドイツ人医師ベルツ博士によって独自の強酸性温泉として世界無比の温泉であることを内外に広めた。

③ そのほかの温泉地



講師 高橋祐次氏

・上牧温泉辰巳館…(みなかみ町) 山下清原画の壁画が有名

・万座温泉万座ホテルジュラク…硫黄分日本一

・那須温泉大丸温泉旅館…大露天風呂

・那須温泉那須いちやホテル…野菜が美味しい

④ 世界遺産にある温泉

・湯の峰温泉(田辺市)、湯川温泉(那智勝浦町)、温泉津(ゆのつ) 温泉(島根大田市)

⑤ 特徴のある建造物のある温泉地

・道後温泉、武雄温泉(佐賀県武雄市)、伊香保温泉、渋温泉(山之内町)、銀山温泉(花沢市)

⑥ 湯治文化を継承している温泉

・後生掛温泉(鹿角市)、別府温泉竹瓦温泉、指宿温泉、野沢温泉、筋湯温泉(九重町)、真賀温泉(真庭市)、鉛温泉藤三旅館(花巻市)、微温湯(ぬるゆ)温泉旅館二階堂(福島市)、栃尾又(とちおまた)温泉自在館(魚沼市)、玉川温泉(仙北市)、寒の地獄温泉(九重町)、別所温泉(上田市) 歴史・文化を学んでから訪れるのがお勧めのことでした。



第14回は「いつまでも自分らしく!」認知機能を保つ「コツ」とは」をテーマに10月9日に開催しました。講師は味の素株式会社でアミノ酸の生理・有用性の研究をしてこられた農学博士の栗原重一様にお願ひしました。

1 認知機能に関する基礎知識

人の名前がなかなか出てこないことなど老化に対する不安は、我々シルバー世代にとっては誰しも抱くものです。

認知機能とは、日常生活に必要な「考える力」や「理解する力」を言います。具体的には、①信号が青になったことに気づく、あるいは調理中の火加減を気にする、などまわりに気づいて集中する「注意力」。②買い物リストを見ながら必要なものを選んだり、ゴミの日にちゃんとゴミを出したり、予定通り病院へ行くことなど決めたことをちゃんとやる「実行力」。③昨日食べたものを思い出したり、家族の誕生日や鍵を置いた場所を覚えているなど「記憶力」をいいます。

「認知症」はその症状が始める前から脳の中では変化が始まっています。加齢や生活

習慣病で認知症の発症リスクは高まりますが、軽度認知障害(MCI)の段階であれば、健全な状態に戻れると言われています。

2 認知機能を保つためには

次の3点①「食事・栄養」の摂取、②「運動」③適度な「睡眠」が大切です。

① 食事・栄養

食事は主食に偏らず、副菜も摂取してバランスをとると認知症のリスクが減ります。良質なタンパク質を含む牛乳や乳製品をたくさんとっている人は認知機能が低下しにくいと言われています。WHOのガイドラインでは「地中海食」すなわち果物、野菜、魚、オリーブオイル、ナッツ、豆類、全粒粉、食事と一緒に適量のワインを飲むなどが推奨されます。

*タンパク質は20種類のアミノ酸の組み合わせでできています。アミノ酸は脳を構成し、機能を正常に保つ「素」ですので、いろいろな食品を食べることが認知機能の維持の観点から重要です。

② 運動

身体運動が多い人ほど認知症の発症リスクが低いと言えます。これは、運動が認知機能

の貯金をし、肥満や高血圧などの脳の負担を除くことで脳のダメージを抑制し、あるいは脳の炎症を抑える効果があると考えられることによります。



③ 睡眠

睡眠の重要性は言うまでもありませんが時間が短すぎても(5時間未満)長すぎても(9時間以上)認知機能が低下するリスクが高いと言えます。これは、睡眠不足や睡眠障害により、脳に炎症が起こり、神経細胞がダメージを受けることによるものです。

認知機能を保つためのポイントとしては、食事・栄養、運動、睡眠の他にも社会参加や趣味を楽しむことも大切です。

きたざわサロン15周年に想う

推進部会 安藤隆夫

きたざわサロンとは

世田谷区が認知症予防と引きこもり防止活動を始めるにあたり北沢地区の民生委員を通して日退協に話が持ち込まれ、協会でも福祉事業を検討しており、当時の社会貢献活動委員会が主体となって引き受けることになりました。

生い立ちと経緯

協会としても初めてのことであり世田谷区の社会福祉協議会(社協)や地域包括支援センター(アンスコ)とも連携しながら2010年6月に第一回きたざわサロンの開催にこぎつけました。まさに手探り状態でのスタートとなりました。

素人集団の世話人(スタッフ)が参加者(ゲスト)をどのように募り、サロンをどのように運営すれば認知症予防、引きこもり防止活動になるのか課題は山積でした。

そんな時、ゲストの皆さんは、お友達気分

で笑顔で話し合いたいことが分かり「みんなで遊ぼうきたざわサロン」を合言葉にして前に向かって進み始めました。

ゲストからの口コミやアンスコ、社協からの紹介により参加者も徐々に増え、毎回異なるイベントも評判を呼びサロンは毎回盛会となり順調に運びました。

新型コロナウイルスで一時的中断

サロン開催10周年を迎えた2020年春に突然、新型コロナウイルスが蔓延し始めゲスト・スタッフとも高齢者集団のきたざわサロンは止むなく一時中断を余儀なくされました。

残念ながらこのまま自然消滅も考えざるを得ない事態となりました。

目出度く再開に漕ぎつける

中断して2年経つ頃になるとゲストから「きたざわサロンは何時から再開するのかしら」「再開を待ってます」といった声が届き

始めました。この声に我々スタッフも勇気を貰い再開に向けて打ち合わせを重ね、社協・アンスコとも連携して2023年6月に第103回きたざわサロンが開催されました。中断によりゲストの顔ぶれも大きく変わりましたが友達紹介戦が功を奏して和気あいあいの和やかなサロンが戻ってきました。

きたざわサロンの今後の課題

オープンから15年が経過しゲストの平均年齢は85歳超となりスタッフの平均も80歳を超えており言わば「老々ケアサロン」の状態となっております。そこで先ずはスタッフ（男性9名・女性5名）の拡充が喫緊の課題となっております。必ずや遣り甲斐を感じて頂ける社協・ボランティア活動です。スタッフのフレイル予防にもなります。活動参加をご検討ください。是非一度きたざわサロンを見学に来てください。お待ちしております。

再開からちょうど2年後に15周年を迎えることが出来ました。そのときの様子を写真で振り返ってください。



15周年おめでとう



誕生会：井田さん、上条さん、渡辺さん



見学者：アンスコ：林さん、宮崎さん



見学者：塩山理事長、西事務局長



のびのび体操



お茶タイム：スタッフによるお茶の準備



催し物：ハワイアン演奏が始まります

ふれあいトークサロン

第52回 令和7年7月1日(火) (参加者98名)

第53回 令和7年11月17日(月) (参加者111名)

■日本橋社会教育会館8階ホールにて開催

■日本橋社会教育会館8階ホールにて開催

〈第52回〉「液化化する」世界をタフに生きる

——日本のリーダーシップを磨く6つのポイント——

講師 国際医療福祉大学客員教授

元朝日新聞社代表取締役社長 木村伊量

混迷の時代を切り開く条件を考える。

第1に、日本の発信力。まだまだ足りないのではないか。インド・中国30億人、イスラム40億人時代。日本の総人口は2008年にピークアウトした。それからはジェットコースターのように駆け下りていく「下り坂」社会。生産年齢人口(15歳〜65歳)は2015年から2040年までの25年間に1750万人減ると予測。アジアで人口数は6位。2045年〜2050年には総人口1億人を割り込む見通し。

GDPはドイツにもカリフォルニア州にも抜かれて、いまや世界5位。すぐ後ろに迫るインド。「縮む日本」にわたしたちはどう立ち向かうか。

世界を見渡すと、「ならず者」に堕したか

のようなロシアのプーチン、もうひとつの狂気は「アメリカ・ファースト」を突き進むトランプ2.0時代。2大核保有国の危うい将来。中国、北朝鮮、イスラエル、イランの動向も目が離せず、日本の位置取りは難しくなる一方。

民主主義と国際秩序を主導するリーダー国がない「重心(G)ゼロの時代」が加速する——The G-Zero wins (米国の調査会社ユーラシアグループ 国際政治学者イアン・ブレマー氏)

スイスのダボス会議(世界賢人会議)での教訓を考えたい。「3S」(sleep smile silent)と揶揄された日本。昔のような「男は黙って〇〇ビール」「沈黙は金」ではだめ。異分野交流、つまり他流試合で発信力を鍛え

上げよう。理想のアントレプレナー、剣豪・宮本武蔵に学ぼう。武蔵は諸国放浪と他流試合を通して独自の二刀流を編み出し、無敵となった。

言うべきときに、言うべきこと、自分の意見をきちんと言う。たとえば「唯一の被爆国」として同盟国アメリカにも臆さずに「No」と言う。英語でペラペラしゃべる必要はまったくなし。

第2の条件はユーモア。残念ながら、この点では現代日本は落第か? 窮地を救うユーモアという名の妙薬。暗殺の危機に際してもジョークを飛ばしたレーガン元米大統領は「グレートコミュニケーター」と呼ばれた。議会議事堂での自らの銅像除幕式で集まった人々を唸らせるジョークを飛ばしたサッチャー英元首相。「つまらない人間と呼ばれるな」と訴えたハーバード大学学長の卒業式訓示。ユーモアという点で日本の政治家で合格点は、GHQのマッカーサー連合国軍最高

司令官をギャフンと言わせた戦後間もなくの吉田茂首相か。吉田さんは、かなりのジョークの上段者？「コチコチの酸欠人間」ではリーダーとして魅力なし。

第3に、日本、とりわけ近代以降の日本をとりまく歴史についてもっと理解を深める必要がある。

「欧米に追いつけ、追い越せ」と肩をそびやかしてきた明治以来の日本。無謀な自爆戦争になぜ至ったか？モダンボーイ、モダンガールが銀座を闊歩した100年前の大正デモクラシーの時代が、実は日本の大きな転換点だったのではないか？中国には対華21か条を押し付け、シベリアに出兵したまま居

座って国際社会の非難を浴びた日本……。単に歴史の知識や年表をたどるのではなく、自分の歴史観を磨き、確立することの大切さ。

（近代日本に焦点を当てた拙著『遠い波濤 忘じがたき日本人の肖像』を参照されたい）。生涯にわたって、知の「武装解除」をするとなかれ。自分の「座右の書」を持つ。

第4に求められるのは、細やかな気配り。この点では、日本はけっこういい線いっているのではないか。トランプ再登場のアメリカ、プーチンのロシア、習近平の中国。「こわもて3兄弟」にしなやかに対応していくことが肝要。さりげない「陰徳」を、日本への信頼感に転換する。おもてなし、通行人に涼をもたらす「打ち水」の思想は日本の誇るべきアセットではないだろうか。

真ん中に芯があり、まわりに木（気）を使う「エンピツ人間」をめざそう。

第5の条件は、グローバル時代のあるべきリーダー像を固めること。官僚主導と政治主導の間を揺れ動く日本。明確なリーダー像が結ばない。

代表的な3つのリーダー像――

① 率先垂範する

蜀の諸葛孔明（モーレツ型の前線指揮官、実戦部隊の指揮官）。山本五十六連合艦隊司令長官「やってみせ、言って聞かせて、やらせてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」。半面、モーレツボスのもとでは部下は疲れま

② 部下を信じ、まかせる

漢の高祖となる劉邦（前256?―前195）――

人材を使いこなす天才。「帷

幄（いあく軍営）のなかに謀をめぐらし、勝利を千里の外に決す



■木村 伊量（きむら ただかず）

朝日新聞社入社後、ワシントン特派員、論説委員、政治部長、東京本社編集局長、ヨーロッパ総局長などを経て、2012年に代表取締役社長に就任。退任後は英国セインズベリー日本藝術研究所招聘シニア・フェローをつとめたのち2017年から国際医療福祉大学・大学院で近現代文明論などを講じる。近著に「私たちはどこから来たのか 私たちは何者か 私たちはどこへ行くのか」「遙かなるリコ」「遠い波濤 忘じがたき日本人の肖像」。

intellectualよりもintelligent（頭のいいひとより、頭の強いひと。知識人よりも知恵人に）をめざしたい。英国の経済学者アルフレッド・マーシャル（1842～1924）の言葉――Cool head, but Warm heart. 「恥ナキ者ガ富ム」（莊子）。欲望がおもむくままのメタボな経済や暮らしを脱して、「吾唯（ただ）足るを知る」（京都・竜安寺のつくばい）。シンプルな哲学をこころに刻もう。



会場風景

るといふ点では、わしは張良にはかなわない。内政の充実、民生の安定、軍糧の調達、補給路の確保という点では、わしは蕭何にはかなわない。百万もの大軍を自在に指揮して勝利を収めるといふ点では、わしは韓信にはかなわない」

対照的に、戦場では常に劉邦を圧倒したライバルの項羽は、有能な武将・参謀たちを使いこなせなかった。四面楚歌。垓下の戦（西暦202年）で自決する。

韓信は劉邦を評して「能ク將ニ將タリ」。『韓非子』はリーダーのランクを3つに分けて、「下君（三流）ハ己ノ能ヲ尽クシ、中君（二流）ハ人ノ力ヲ尽クシ、上君（一流）ハ人ノ智ヲ尽クス」

③ 最終責任を取る 大局を見る（出口戦略 Exit Strategyを持つ）
韓非子は「宰相は細事に親しまず」。トルーマン米大統領「The buck stops here」（最終責任はオレがとる）

日露戦争時の満州軍総司令官大山巖は西郷隆盛の従弟。大山農場を経営し、いまは西那須野の原野に眠る。「勝ち戦のときは児玉源太郎大将（満州軍総参謀長）にまかせておくつもりだが、いよいよ負け戦となった場合には、おいどんが陣頭に立つ決意である」

「この日露の役の軍配の上げ方は貴下にぜひとも願いたい。およそ連戦連勝というよう

な場合には、国民全体が勝つことだけを知って負けることを全く思わず、有頂天となって手の舞い足の踏むところを知らないという情況になるものである。このようなときに軍配を振るといふことは、まことに大役であつて、一身を犠牲にする覚悟がなければできない。貴下以外にはこの大役をお願いする人はいない」（大山巖が海軍大臣・山本権兵衛との会談で。千早正隆『海軍経営者 山本権兵衛』）

「明なれども察に及ばず」が理想。察とは細かいところに目がゆきとどきすぎること。場合によっては、目をふさいで見えないフリをする必要も。

（残念ながら、日本社会によくみるタイプは「エセ西郷・大山型」のリーダーもどき。「よきにはからえ」。具体的な方向性の指示がないまま、「君にまかしたから頼むよ」。要するに丸投げ。無能であること、ビジョンと中身がないのを覆い隠すために、もの言わず、茫洋とした大物リーダー風を気取る？



公演の様子

混迷の時代を切り開く条件、その6 短期思考（マシユマロ脳）から長期思考（どんぐり脳）への転換をめざす。

1960年代スタンフォード大での4歳から6歳の子どもを対象にした調査。部屋で1人になっても15分マシユマロを食べなかったら、もうひとつあげる。3分の2の子どもが15分待てなかった……

英国の文化思想史家ローマン・クルツナリック氏。「わたしたちは未来の子孫にとって『よき祖先（グッド・アンセスター）』になれるか」。

「コロナウイルスは、わたしたちが不確実な未来を前にして短期思考の危険に立ち向かい、レジリエンス（回復力）を高めるために必要な、長期思考を取り戻すきっかけとなるかもしれない」

しかし、残念ながら、政治も社会も、新型コロナウイルスが収束したら、落ち込んだ株式市場や企業業績の回復など目の前の問題解決に振り回されて「近視眼的」になりがち。長期的視点で、未来を考え、次の危機に備えることがおろそかにされる。わたしたちは、行き過ぎたグローバルイノベーションを見直す、絶好のチャンスを見つけたのだろうか？

長いスパンで未来を構想する力。「デューブ・タイム」という視点を大事にしたい。北アメリカ先住民のイロコイ族（連邦 Iro-

quois Confederacy) は、「一本の木を切るかどうか」も「7世代先の子孫が幸せになるかを考えてから決める」。

人類学者の長谷川眞理子氏によると「人類史の99%は狩猟採集生活だった」。米カリフォルニア州のロング・ナウ財団は、1万年前の農耕牧畜文明のあけぼのを起点に、これから1万年先の世界を視野に未来を考察する必要を訴える。

でも、1万年先を考えるのは……ちよつと無理ですね。「深呼吸して、せめて1000年先のことを考えよう」（クルツナリック氏）。国家100年の計。

このささやかな講演の締めくくりに、世界の喜劇王チャーリー・チャップリン（1889～1977）のことばから――。

「人生は恐れなければ、とても素晴らしいものなのだ。

人生に必要なもの。

それは勇気と想像力。

それと、ほんの少しのお金 (some money) だ」

〈第53回〉文楽の楽しみ方

公演 人間国宝 二代目 吉田玉男師匠

解説 吉田純子文化庁主任文化財調査官

第53回ふれあいトークサロンは、人間国宝の二代目吉田玉男師匠と文化庁主任文化財調査官の吉田純子氏をお招きして、111名が参加のもと開催されました。文楽をまだ観たことがない人が半分以上いる中で、文楽の歴史や人形の特徴の解説を通して、日本の伝統芸能の素晴らしさを理解できたものと思います。併せて、二代目吉田玉男師匠が文楽の世界に入ってから人間国宝になれる今日までの半生を知り、師匠の人間性や魅力を感じる事ができました。

以下聴講レポートをまとめました。

第一部 吉田純子文化庁主任文化財調査官による文楽の歴史

人形浄瑠璃文楽は日本を代表する伝統芸能の一つで、太夫・三味線・人形が一体となり、また一つの人形を三人で遣うという世界でも類を見ない総合芸術です。

人形浄瑠璃とは、浄瑠璃と呼ばれる語り物音楽にのせて演じる人形芝居のことです。

人形の歴史は古く、神が宿るような信仰に

結びついた存在でありました。平安時代の書物には、人形廻しの集団があったことが記載されています。語り物音楽としては、中世に琵琶を演奏しながら「平家物語」を語った琵琶法師の存在が有名です。琵琶法師が、沖繩から大坂堺にもたらされた三味線を琵琶に代わって用い、新しい題材の物語を手がけるようになり、ここに三味線を用いた語り物音楽が誕生し、浄瑠璃が發展していきます。

16世紀に人形芝居と浄瑠璃が出会い、江戸時代初期に人形・語り・三味線が一体になった人形浄瑠璃が生まれました。

17世紀後半、語りの名手竹本義太夫と作者の近松門左衛門の作品により、人形浄瑠璃は大人気を得て全盛期を迎え、竹本座が創設されました。演目は平家物語などを扱った時代物と、世話物と呼ばれる当時の庶民の生活を題材にした「曾根崎心中」などが演じられました。三人遣いの人形の操法が発明されたのは18世紀中頃のことです。

この後豊竹座をはじめいくつもの人形浄瑠璃座が盛衰を繰り返し、明治に植村文楽軒が

大阪ではじめて「文楽座」が、その後、唯一の人形浄瑠璃の座となったことから、人形浄瑠璃を「文楽」あるいは「人形浄瑠璃文楽」というようになりました。

第二部 スライドトークと実演

スライドと動画を交えながら、かしら（首）を用いて人形の表情の動きをご説明いただきました。玉男師匠とインタビュアーの吉田主任調査官の絶妙なやりとりで、文楽の神髄に迫るトークが展開されました。

① 人形浄瑠璃文楽とは

義太夫節を語る太夫・三味線と人形が対等な立場で共演しながら、三者が一体となって人間の微妙な心情を表現します。

② 文楽人形の特徴

文楽の人形は公演のたびに役に合わせて、かしらにかつらをつけ、衣装・手足・胴・小道具などが揃えられます。人形遣い自身が人形を拵えます。人形の全重量は10〜15kgになります。

「文七」のかしらは眉毛、目、口と、頭が上下左右に動かせるようになっていきます。かしらは四百体近くあり、代表的なものとして「文七」「孔明」「鬼一（きいち）」「檢非違使（けんびし）」「娘」「老女方（ふけおや）」などがあり、役柄に合わせて髪型が変えられ、顔も



吉田玉男師匠公演



吉田玉男師匠と吉田主任文化財調査官

その都度塗り替えられます。同じかしらでも役柄の性格・境遇などで表情が変わって見えます。なお、「娘」には顔の動く仕掛けがなくわざとぼんやり作ってあります。

文楽では人形を操ることを「遣う（つかう）」と言い、人形のかしらと右手を操作する「主遣い（おもづかい）」、左手を操作する「左遣い」、足を動かす「足遣い」の3人で一体の人形を動かします。より人間らしい動き、より豊かな表現を追求するなかでこのような遣い方が生まれ、これを「3人遣い」といい、3人がそれぞれ違う役割を担います。世界には数々の人形劇がありますが、その多くは糸で操る操り人形であり、文楽の人形のように3人がかりで動かすものは他にありません。



■吉田 玉男（よしだ たまお）

- 昭和43年 初世吉田玉男に入門、吉田玉女を名乗る
- 同 44年 「菅原伝授手習鑑・寺子屋の段」の菅秀才で初舞台
- 同 62年 重要無形文化財「人形浄瑠璃文楽」（総合認定）保持者
- 平成14年 国立劇場伝統芸能伝承者養成「文楽」研修講師（現在に至る）
- 同 17年 小割委員を務める（現在に至る）
- 同 24年 第32回伝統文化ポーラ賞優秀賞
- 同 26年 第70回日本芸術院賞
- 同 27年 二世吉田玉男を襲名
- 令和 2年 紫綬褒章
- 同 5年 第44回松尾芸能賞優秀賞
- 同 年 重要無形文化財「人形浄瑠璃文楽人形」（各個認定）保持者

吉田玉男氏は、伝統的な人形浄瑠璃文楽人形の技法を高度に体現し、とりわけ時代物の立役に力量を発揮しており、斯界を代表する一人として活躍し、重要な位置を占めている。また、後進の指導・育成にも尽力している。
〔各個認定保持者（いわゆる人間国宝）認定時の文化庁報道発表資料より抜粋〕

③ 玉男師匠の入門から人間国宝の認定まで
●後継者不足で、近所の人形遣いの吉田玉昇

さんという方から誘われて、中学2年生の春に、授業が終わってから、道頓堀の朝日座にアルバイトで手伝いに行ったのが入門のきっかけです。

●中学卒業時に親の反対を押し切って入門。初代吉田玉男師匠の一番弟子となり、「早く男になれ」という意味で「玉女(たまめ)」という名を与えられました。

●師匠、初代吉田玉男について

アルバイトの時は優しく指導されました。入門後は厳しく指導されました。師匠は内弟子を取らなかったで自宅から通いました。仕事漬けにならずに、師匠に叱られた時には母に当たったこともありましたが、23歳で実の父親を亡くしたこともあり、入門



吉田玉男師匠とかしら

の日よりほぼ毎日と共に過ごした師匠は、本当の父親のような存在でした。

●足遣い、子役時代、左遣いの修業

「足10年、左15年」と言い、入門して「足遣い」の修業をするなかで、足が体の芯から外れないように厳しく指導を受けました。足遣いの修業時にも、子役や端役の主遣いで舞台に立つこともありましたが。

その後15年間左遣いで修業しました。

●初代吉田玉男の逝去と二代目襲名、人間国宝認定

2006年に初代吉田玉男師匠が逝去し、その後は主遣いとして時代物、世話物問わず文楽をリードして、師匠の逝去9年後の2015年二代目吉田玉男を襲名しました。玉女から47年後玉男へ「転女成男(てんにょじょうなん)」でした。襲名披露では「一谷嫩軍記(いちのたにふたばぐんき)・熊谷陣屋の段」熊谷次郎直実役を演じました。2023年重要無形文化財保持者(各個指定) いわゆる人間国宝に認定されました。

④ これからの目標と課題

●立ち役(男役)を中心に務めてきました。自身は時代物が好みであり、特に「熊谷陣屋」の熊谷直実と「伊賀越道中双六」の唐木政右衛門を演じるのが好きです。今後は「伽羅先代萩」の政岡など女方にも挑戦し

ていきたいと考えています。

●東京公演は国立劇場の建替えの影響を受けていますが、都内や横浜などの劇場で公演を継続しています。大阪公演は国立文楽劇場で行っています。年間公演スケジュールは公益財団法人文楽協会のHPで確認できます。チケットはインターネットでの購入も可能です。

●文楽の後継者不足が深刻な課題となっています。研修生募集や文楽鑑賞教室の開催等の普及活動を進めていますのでご支援ください。

⑤ 二月の公演の案内

公演…2月11日～23日(16日は休演)

場所…神奈川芸術劇場

演目…絵本太功記

最後に

玉男師匠と吉田主任調査官にはご多忙の中、公演と解説をいただきありがとうございます。日本の貴重な伝統芸能に接することができ充実した一日でした。奥様の小唄幸三希師匠にも、当日のプロジェクター操作の他、事前の準備等々、お世話になりました。また、今回の公演の企画をしてくださった三沢清先生に厚くお礼申し上げます。

(白井正明)

〈個人会員親睦会〉

「はつらつふれあいの集い」



塩山理事長のご挨拶

「はつらつふれあいの集い」は、当協会の個人会員を対象に会員相互の交流と親睦を目的として毎年開催する行事です。今年は11月12日（水）にパセラグレースバリ秋葉原にて開催いたしました。

実はこの場所に決めましたのは、昨年の開催でカラオケが好きな方が多いと思われ

ましたので、ゲストを呼ぶことよりも参加者の皆さん自身に楽しんで頂こうと企画した次第です。

開場は、11時50分からでしたが、皆さんのお見えになる時間が早く、準備段階であたふたして受付が混乱してしまいました。皆さんの期待が大きいことを実感しました。

12時10分から時間通りに伊藤の司会で始まり、吉川副会長の開会宣言で幕を開けました。続いて、塩山理事長からは挨拶と今年度の本部のイベント等の紹介を行いました。そして毎回多くの景品を寄付して頂いている㈱ミツウロコグループホールディングスの松本様からのご挨拶を頂きました。次に理事長から一人一人の役員紹介をおこない、恒例の新人会員への新米を贈呈しました。



役員のご紹介

協賛法人

株式会社ミツウロコグループホールディングス
損害保険ジャパン株式会社
丸大食品株式会社

(敬称略)



西事務局長の乾杯の音頭

いよいよ新事務局長の西さんから乾杯の音頭で宴会の始まりです。

司会が恒成理事に代わり、特別出演の協会の同好会であるフェローチェ男声合唱団の皆様により、「帰れソレントへ」「昂」の2曲を披露して頂きました。10名といつもあり少ないとのことでしたが、男声合唱団の迫力が感じられて「ブラボー」でした。次に指導者でもある伴真純先生の独唱「愛



フェローチェ男声合唱団の皆様

の賛歌」ですが、矢張りプロの歌い方で聞きほれました。

次は、カラオケ第一部の開催です。事前に申し込まれた方、石井憲さん↓高林寛さん↓西村修さん↓久保博俊さん↓篠田猛さ



カラオケで盛り上がり熱唱

ん↓塩山哲郎さんの順番で歌って頂きました。皆さん前に出られるだけあって、お手でしたね。

ひとまずカラオケ第一部が終了し、次は皆さんお待ちかねのビンゴゲームの始まりです。高島顧問の進行で機械を使い行いま



会場風景



きたざわサロンの物販



東京音頭

したが、思ったよりビンゴになる方が早く出て順調に進みました。全員に景品が行きわたりましたが、欲しいと思ったものがゲットできたでしょうか？

カラオケ第二部の始まりは、当日会場でもうりました村松正明さん↓天野静一郎さん↓白石崇さん↓菊田宏さん↓伊藤真美さんとこれまた、各々の方が良い味を出されて楽しく聴かせて頂きました。残念でしたが、女性の出場者がいなかったこと。女性

の皆さんで「人生いろいろ」でも歌いたかったですね。

最後に皆さん法被をきて、恒例の東京音頭を踊って盛り上げて頂きました。

次に石井専務理事から来年1月18日(日)のチャリティコンサートについてお願いをしました。

最後に西村専務理事から閉会のご挨拶を頂き、つつがなく終わりました。

今回は、広い会場で料理をテーブル毎に

置き、そして飲み放題。ただ、料理が下見の時とは違いましたが、今までで一番良かったとおっしゃっている方がいらしたのと、とで、安心しました。

委員の方、当日お手伝い頂いた方には感謝申し上げます

そして出席の皆様には、きたざわサロンの物販に協力して頂くなど親睦会を盛り上げていただき、無事に終わることができました。ありがとうございました。(伊藤春江)

マチユリテイ談話室

最近思っていること

神奈川会 飯田吉辰



「人間は正しく生きたいのではなく、楽しく生きたいので、これは私が毎週楽しく視聴しているNHKの大河ドラマ「べらぼう」のメインコンセプトと思われるフレーズです。

確かに一部の例外を除けば一般の人の共通の本音を表現したものだと感じています。大多数の人はより多くの収入を得るために懸命に知恵を絞って働くという正しい生き方をしています。その成果を十分に活用して生活をエンジョイしているでしょうか？

『振り返れば、山坂はあつたけれど全体としては充実した楽しい一生だったな！』と言える人はどれだけいるでしょうか？ 趣味・娯楽・

芸術鑑賞・スポーツとその観戦など自分が望ましいと思ったことを手掛けて満足できた人は幸せな人だと言えるでしょう。

このテーマは企業・法人にも通じるものがあると思います。売り上げを伸ばし、最大の利益を得て、将来の業容拡大に向けての投資を進めるということは企業として正しい行動です。しかし30年間に及ぶ低成長期の中で多くの企業はその利益をもっぱら内部留保に廻し、会社存続のカナメである社員への配慮が不十分だったと言わざるを得ません。保養・教育の施設、社員住宅、社員食堂などの相次ぐ廃止や社員間のコミュニケーション向上に役立ってきた運動会、文化祭、社員旅行などの各種福利厚生施策の縮小・廃止、加えて肝心の給与は長年低水準のまま維持されてきました。

その結果として、社員は生活を楽しむという余裕が無くなり、会社に対する帰属意識・愛着・感謝の気持ちの薄れ、近頃話題の入社早々の退職・結婚回避・出産忌避・少子化の進展な

どの社会問題の深刻化に繋がったと考えられます。過度な経費節減や内部留保による副作用ではないかと思われます。まさに「過ぎたるは及ばざるが如し」の具体例と言えるのではないのでしょうか。

「日本百名山」と私

埼玉会 仲田博人



2010年10月10日、私は深田久弥の「日本百名山」の最後の山、白山に登頂した。私はその時60歳。

日本百名山の最初の山、那須岳からちょうど40年が経っていた。百名山の登山では、色々と思いついて来た事があった。11月の北岳では、吹雪の翌日、山小屋の番人から搜索願を託されて、ふもとの駐在所に届けた。槍ヶ岳山荘では水筒を盗まれ、その後の穂高岳連峰縦走では、拾ったサントリー角瓶に水を入れてチビチビ飲んだ。谷川岳では、ある年の3月、悪天候の中で頂上直下の「肩の小屋」を探すのに20分以上もかかった。等々、数え上げたら切りがない。

「日本百名山」は昭和34年3月から雑誌「山

と高原」に連載され、その後日本の山のバイブルとなった。彼は選定基準を①山の品格、②山の歴史、③山の個性とし、山の高さを千五百メートル以上とした。ただ彼は、多くの山に登ることを推奨しているわけではなく、多くの山に登ったことが自慢にはならないとも言う。ただ、私にとって「日本百名山」は、未知の山に對して挑戦する動機付けとなり、指針となったことは事実である。

彼は、「日本百名山」で、「日本人は大ていふるさとの山を持っている。私のふるさとの山は白山であった。戦後私はふるさとに帰って孤独な疎開生活を送ったが、白山はどれほど私を慰めてくれたことか。白山について語り出せば切りがない。」と語っている。そんな深田久弥にとつての特別な山を、私は百名山の最後に登頂する山にしたかったのである。

私は、6年ほど前に膝を痛めてしまい、大きな山には登れなくなってしまうが、ある事情から東京近郊の低山を登るハイキング・クラブの代表を務めることになった。今は毎月のようにザックを背負って出掛けている。低山もまた楽しく、夫々の頂に夫々の喜びがあり、である。

山ありてわが人生は楽し (深田久弥)

85歳と生きる

西東京会 福島龍郎



日常の雑事に追われ、気が付けば私も既に85歳を超えていた。これ迄、自分では85歳の到来を期待

したことも無ければ、忌避したこともない。85歳の到来が天命ならば、特段の抵抗感も無ければ、真面目な順応意識も無い。10年前と比較すれば、確かに体力・知力の低下も自覚しているが、現在の活動量を見直す程ではない。ただ最近、意に反して「自分の高齢化との因果を無視できない」出来事にも遭遇した。大方のご指導も仰ぎたい。

「白内障の手術」

加齢の影響なのか？ 最近、視力がかなり低下した。日常生活にも不都合だ！ 日頃の会議や講演会なら、自己努力で前方に席を確保すれば、視力も我慢の許容範囲内となる。他方、人知れずそれなりの努力も続けたが万策尽きたのが、「車の運転」と「ゴルフプレー」だ。

「近所の眼科」に駆け込んだ。女医先生は

簡単な検診の後、「85歳迄、よく我慢しましたね」だ。「白内障の手術」を勧められた。2週間後に、入院・手術をした。「手術の結果」は大満足だ。世界観が変わる程に視力・色彩感も回復した。特に「車の運転」が実に快適で今迄とは別世界だ！ 飛躍だが、私の「新しい眼」は「古い車」の運転ではもったいない。「85歳を過ぎて」との家族の反対を押し切って現在、「新車の商談」が進んでいる。

「海外旅行再開」に難題

コロナ前まで、毎年7月中旬に「マッターホルンの裾野歩き」の旅行に参加した。3時間程の山道を歩くが、見渡す限りの綺麗なお花畑だ。日頃、山歩きは不得手の家内も、このコースには毎年同伴した。今年、自分の85歳に気がつき、コロナで中断していた海外旅行の再開を意した。7月早々に旅行代理店を訪ね、旅行を申し込んだ。驚きの返答だ！「引受け規約の改訂」で私の年齢(85歳)では「家族の同伴が必要」とのことだ。反射的に「家内同伴なら」との質問に、「家族同伴者が二人必要！」との返答だ。「家族同伴者の確保」さえ困難だ、旅費もコロナ前の約2倍だ。参った！

「歳」は取りたくないね

ゴルフ徒然なるままに

京葉会 篠田 猛



私がゴルフを始め
たのは約53年前に遡
ります。入社2年ぐ
らいの頃に義父から
ゴルフセットをもら

い練習場に通う事からスタートしました。その
直後に海外でのプラント建設で2年半台湾（高
雄市）に滞在の機会がありここで本格的サラ
リーマンゴルフ人生がスタートし現在77歳にな
りますが、年間約60〜70回のラウンドを楽しむ
日々です。ゴルフの面白さ、良さを次の2つの
出会いで捉えてみました。

(1) ゴルフ場との出会い

ここで印象的なコース、ホールを1つだけ紹
介します。青森の夏泊半島の突端にある夏泊ゴ
ルフリンクスです。北緯41度に位置しスコット
ランドのリンクスを彷彿させるゴルフ場です。
海風が凄い。ここの17番ホールです。162ヤード
のPar3ですが縦長のグリーンで右からの海風
が中途半端でない。グリーン方向が時計の12時
とするとキャディさんは2時の方向に打てと言

うのです、しかしそこは津軽海峡の海です。結
果的にはそこまで右に打てなく右からの海風に
流されてグリーン左のOBゾーンにボールは消
えてしまいました。仄聞したところ全盛期の尾
崎選手がここでの開催ツアーで「俺には向かな
い」と練習ラウンドで帰ったとのこと。

ゴルフ場の話題で紹介したい件がもう1つあ
ります。日本の名門ゴルフ場である大洗ゴルフ
倶楽部、日光カンツリー倶楽部、霞が関CC等の
設計者である井上誠一さんのことです。設計の
コンセプトは自然との調和と各ホールに個性を
持たせ極めて戦略性に富んだものであり、一例
をあげるとバンカーの配置及び形が自然にマツ
チしていて絵画の中でラウンドしているような
錯覚に陥ります。実は仲間4人で彼の設計コー
スを回ろうと企画し10年近くかけて20か所ほど
達成しましたが2人の仲間が他界し、この企画
は残念ながら途中で終わることになりました。

(2) 人との出会い

最後にゴルフの最高の魅力は人との出会いに
あると思っています。最近1人予約出来るプラ
ンがありリタイアした老人には好評です。自分
も利用していますが、毎回メンバーは変わります。
最近出会った人々を紹介します。

86歳の方で常にエージシューター（年齢以下

のスコアでラウンド）を目指しています。昔、茨
城県のアマチュアチャンピオンでした。次の方
は交通事故で残念なことに片目の機能を失った
方ですが、想像を超える努力を重ね素晴らしい
ゴルフをしています。もう1人は70歳後半です
が毎週1回東京錦糸町から群馬まで電車で通っ
ている方です。ゴルフクラブは預けたままです。
毎回このような出会いがあります。最後に！
ラウンド後の仲間とのビールの味は最高です。
あと何年プレー出来るかわかりませんが、身体
と気力が続く限り続けたい。

心を繋ぐ贈り物

広島支部 粟屋悦子



62歳の春、私は牛
田新町女性の扉を
開きました。地域と
結び合うことが、こ
れからの私にとって

大切だと感じたからです。公民館まつりへの参
加協力、社会福祉協議会との連携、国道の美化
掃除……冬の夜明け、凍える手で掃除したあの
日も、今では懐かしい思い出です。けれど、時
は流れ、50余年の歴史を持つ女性会は今年、静

かに幕を閉じました。ここで得たものは計り知れません。一抹の寂しさと、たくさんの感謝を胸に、私は次の場所へと歩みを進めました。

日退協の事務局に入った初日、窓辺から手を振って迎えてくれた男性スタッフの笑顔が、今も心に残っています。女性ばかりの世界から一歩踏み出した私にとって、それは希望の光でした。

まもなく、日退協の事業の中心である二木会の司会を任せられました。「自分には荷が重い……」

「そう思いながらも、スタッフの皆さんの活動に取り組む真摯な姿に背中を押され、引き受けることにしました。いよいよ新米の司会が始まる前夜、ある方から「大丈夫よ、今夜はぐっすり寝て」とメールが届き、翌朝には「よく眠れましたか？」と優しい声。その言葉は、私の心をそっと包む贈り物でした。講演会の講師探しは、落ち葉を一枚ずつ拾い集めるようなもので、けれど、女性会でのご縁が思いがけず実を結び、紅葉に埋もれる宝箱を見つけたような喜びもありました。習慣となっている牛田山への登山では、頂上で出会う常連さんたちと新鮮なひと時を過ごしています。そんな中、日本中の山々を巡りたいという夢も、静かに芽吹いています。昨年10月、二木会は390回を迎えました。33年の歩みに深い敬意と誇りを感じています。

私の心の拠り所である日退協が、これからも素晴らしい会であり続けるように。人と人との間に生まれる温もりを信じて、私にできることを、これからも静かに、しっかりと続けていきたいと思っています。

流行という名のバス

広島支部 山本 胖



30年前に書いたエッセイがあった。

それを読むと……

「流行という名のバスは、騒音と排気ガスを撒き散らしながら高速で走り続けている。高速バスは時代の変化に乗り遅れまいとする人々を乗せて通り過ぎていった。」

ガスのいやな匂いが消えたあと、ふと気が付くとアスファルトの隙間からスマイレが紫色の小さな花を咲かせている。電柱からも雀のさえずりが聴こえてくる。トボトボと歩くのも悪くない。視線を周りの樹々や足元の草花に向けるうちに、バスに乗り遅れた人間だからこそ感じられる壮快さがこみあげてきた。時には、バスに乗り遅れることも必要である。自然と戯れれば

興味深い光景を見ることがある。自然と生きれば自分を見つめ、自分を知ることでもできる」

私の職能は建築設計士であり、商業施設や店舗を主に、街づくりや神社仏閣、福祉施設など広範囲の設計を手掛けてきた。

仕事の第一線を退き、自分らしく生きるために日退協に入会して早3年を迎えようとしている。もうすぐ平均寿命を迎えるので人生の晩年期をトボトボと歩くこととしたのだ。なぜか木楽会の代表世話人にもなり、皆さんと気楽にトボトボと歩きながら自然の樹木の表情や個性に驚き、足元の草花に癒されている。

写真を楽しむ会にも入会し、本格的な写真も始めた。写真を持ち寄り会員の表現に個性的な花が咲き、撮影意図の説明や感性に感動する。むしろ自分の写真にも意外な感性を再発見し、自己満足として自分を褒める。写真を始めて一番うれしいのは55年前の青春時代、リュックを担いで一人でヨーロッパを旅したことがある。その時、欧州の光と日本の光の質が違うことに驚き、日本の自然観と美意識、絵画や建築空間などがその光によって影響を受けているのではないかと勉強したことがある。写真は光の芸術、その影響が表れていることを思い出し、そのつづきの勉強がはじまった。

●我が家の愛犬

神奈川会 太田稔久

2023年11月15日生まれのボーダーコリーと暮らしています。3歳に満たない同じ犬種のノアが同年11月16日に亡くなり、妻の強い希望から前日生まれの子犬を8週間後に迎えることになりましたが、妻は心臓を患っていて迎え入れる前に力尽きてノアの後を追っていきました。

ノアが短命だったので、青空のもと遊ばせたいとの思いから仔犬の名前をソラと妻が命名しました。妻の想いと運命的な出会いのソラが愛おしくてたまりません。

●犬と違っていない犬

神奈川会 石川義明

出会いは突然であった。何気なく覗いたペットショップ。目と目が合った瞬間何かを感じた。そんな訳で我が家に来たマルチーズ。

小さい頃は走りまわり駆けまわり愛くるしい仕草で家族のアイドルであった。ところが、成長するに従い自分を犬と思わなくなり、家族の

中で順番があるらしく、特に次女には自分より下と思っているのかよく喧嘩をしていた。よその犬との交流も嫌い、犬らしくない犬であった。しかしやはり我が家の家族であり、14歳でなくなった時はいてくれて「ありがとう」と思いその後ペットは飼っていない。

●我が家のペット

埼玉会 三野晶代

以前に小型犬を飼っていた。飼ってみてわかった。ペットがこんなに愛しいのか。

そして失ってから、生活のすべてに於いての存在の大きさに気づかされる。

暫し傷心の日々、犬や猫、小鳥やうさぎも可愛いからまた飼ったらと周囲は言う。

しかし自分の健康寿命もふくめ、世話の大変さを思うとそう簡単には踏み切れない。

高齢者には世話の楽な、幸福度もたらし話し相手となるようなAIロボットのペットが進化普及するの

かな。

●我が家のペット

埼玉会 石井 憲

愛犬(ロンド・ヨークシーの雌)が我が家に来たのは平成18年11月の寒い日でした。

買い物帰りにふと目をやったペット屋さんのショーウィンドーに彼女はいました。目と目が合った時に連れて行くと哀願するような愛らしい眼差しにすっかり参ってしまいました。衝動買いの典型ですね。

その後、すっかり大事な家族の一員となり、癒された13年間でした。また、飼いたい気持ちもありますが、年齢を考えると……。

子供のころ、隣家にシェパードがいて、追いつけ回された挙句に、尻をかまれた苦い経験があり、犬は大嫌いだったのですがね。

●我が家の愛犬「ポッキー君」

西東京会 湯藤 哲

保護施設から移住して来たのは、推定年齢十四歳の「トイプードル」でした。施設からの受け入れは、初

体験でしたのでお互い手探りの状態でした。素直で無駄吠えをしない優しい性格の中型犬です。

某TVで山中教授(ノーベル賞受賞)が「人生の最終コーナーでの伴走者は愛犬、愛猫等が多い」と話されているのを耳にして私も同感。

この子とは愛しい伴侶として、これからも生涯を共にして行くつもりです。



●我が家のペット

西東京会 比留間文子

我が家の愛犬は四代目ですが、全部柴犬、名前も同じくチコちゃんです。我が家にご縁のあった柴犬の中で、一番お馬鹿さんです。しっかり教育しなかったのも悪いのですが、なんにも芸事が出来ないのです。

でも、私が出かける支度をしていく様子には敏感で、お姑さんに気兼ねで顔色を見ながら出かける気持ち

でも、私が出かける支度をしていく様子には敏感で、お姑さんに気兼ねで顔色を見ながら出かける気持ち

になりま
すが、今
ではチコ
ちゃんに
気を遣い
ながらコ
ソコソ出
かけます。
その代わ
り、帰っ
てきた時



の大袈裟に喜ぶ姿と表現は凄く、可愛いです。又、人間の言葉が分かるのかな？と思うこともあります。

孫たちと、純氣（息子のラーメン屋）に行こうかと話をしていると、反応は早く急に暴れ出し、連れて行くまで収まらないのです。

今では夫婦の会話は、主にチコちゃんの話のみ。立派に夫婦の距離間を保ってくれているのかな？と思いい、愛おしく思う今日この頃です。

●ペットとの思い出

京葉会 後藤憲子

我が家のペットは犬である。名前はマコと小次郎。残念ながら2匹とも今はいない。

マコ享年17歳、小次郎享年14歳、

思い出すと泣けてくる。マコは小さい小さい女の子、ビビりですぐ吠える、私以外には懐かない子だった。反対に小次郎はと云うとスピッツに間違えられるほど大きく真っ白なチワワで自分を犬と認識していない、生意気にも若く綺麗なお姉さんの事が大好きだった。

そんな子供たちがいなくなり今は静かな毎日だ。自分自身に残された時間を考えるともうペットは飼えない。もう一度抱っこしたい！あのふかふかの感触にもう一度触れてみたい！今はもう、叶わない夢になってしまった。

●我が家のペット

広島支部 佐々木由紀子

我が家のペットと言うより正確には娘家族が飼っているテリアの男子です。名前はベリーと申します。

朝の散歩から帰ってきたら玄関前に繋がれて、通りがかりの人、わが家へ訪ねて来た人に白い小さなシッポを思いつき振り回し喜びを表しています。またその吠え方は近所迷惑甚だしい限りです。

しかしながら、昼間は若い人たちは仕事でおらず、留守宅は老人子供

ばかり。このご時世、小さな体ですっきり番犬の役目を果たしてしま

●虹の橋

広島支部 荒谷ハツエ

生後3週間目から12年5か月を我が家で過ごした黒毛で賢く威風堂々としたベルシャ猫。彼が病で死亡した後の夫のペットロスは私の想像以上だ。

夫には一番の友であり癒しだったようだ。保護猫を見に行ったこともある。しかし、私たちの年齢や趣味の旅行を考えるとペットを飼うのは控えたい。

夫は恨めしそうに私を見ている。私はそんな夫を慈しみ、金魚に愚痴を聞いてもらう今日この頃なのだ。

●スズムシのおじちゃん

広島支部 下桶英夫

私のペットはスズムシかもしれない。昨年は私の飼っているスズムシが、6月上旬（梅雨のころ）に卵から幼虫になると約3500匹がふ化しました。

8月ごろに成虫となり、美しい声で鳴き、家族みんなを喜ばせてくれます。

昨年は小学校の子供たちを中心に約160人の皆さんにスズムシとチラシ（スズムシの一生と飼い方）を差し上げ、大変喜んで頂きました。

子供たちが私を見ると「スズムシのおじちゃん」と呼んでくれます。今年も頑張って子供たちを喜ばせてあげたいと思います。

●空想のペット

広島支部 鈴木あつ子

私の空想のペット、それは一匹の犬。もし生まれ変わるなら、必ず犬を飼いたい。

今は犬とくらしえないけれど、散歩で出会うワンちゃんたちは皆私に愛をくれる。

「可愛いね」と話しかけると必ず立ち止まり別れを惜しむように見つめ返す。

これは不思議な事。私は犬を惹きつける何かを持っているのかもしれない。動物と心を通わせる能力があるのかな？

人間より動物との相性がいいのかも知れない、フフフ……いつか必ず愛する犬と暮らしたい。

同好会だより

銀座カラオケ会

カラオケIとカラオケIIが一本化された銀座カラオケ会が2025年10月25日(土)に新たにスタートしました。

当日集まったカラオケ好きの面々は7名、うち4名は新メンバーでフレッシュな第一回目となりました。

演歌大好きな人、一人の歌手の歌で通す人等々いろいろなジャンルの歌が披露され、大変盛り上がった一日でした。

このカラオケ会は偶数月の第四土

曜日14時から17時まで行われます。場所は銀座8丁目、ど真ん中で、会場の広さを考え



第2回銀座カラオケ会に集まった面々

ば15名以内で行いたいと考えています。

参加希望者は協会事務局

Tel 03-6240-9381

Fax 03-6240-9382

又は、左記幹事宛にご一報ください。

代表 橋本隆夫

Tel 080-5930-9103

又は、西村 修

Tel 090-8331-4448

(西東京会 橋本隆夫)

鎌倉探訪

■「海風香る街・江ノ電の走る街」

腰越街歩き

(9月26日 参加者23名)

秋の彼岸が過ぎたにもかかわらず

真夏日の午後総勢23名、鎌倉駅西口

に定刻前に集合。鎌倉駅は外国人や

課外活動の小学生でかなりの賑わい

であった。本日の目的の腰越に向か

うため江ノ電鎌倉駅より乗車、イン

バンドで相変わらず人気の江ノ電

は外国人客も多くほぼ満員で各国の



龍口寺にて

お国言葉が飛び交い賑やかだった。心配したが全員無事腰越駅で下車できた。

腰越駅のすぐ近くにある源義経ゆかりの「萬福寺」に向かう。この寺は、菩薩とよばれた僧行基が建立した寺で、壇ノ浦で平家を滅ぼした義経が帰参を許されず、この寺にとどまり「腰越状」という書簡で頼朝に理解を求めたが鎌倉入りは叶わず、20日ほどとどまったといわれた寺である。

本堂内には「腰越状」や諸々義経ゆかりの資料が保存され、境内には弁慶の腰掛石や手玉石がある。本堂と境内を散策後すぐ近くの小動神社を参拝、江の島を一望できる見晴台より眺めを堪能した。続いて江ノ電の通る電車を江ノ電を眺めながら

江の島に向かい、龍口寺を参拝した。龍口寺は日蓮聖人の弟子の日法聖人が、日蓮聖人処刑の際に首の座に敷かれたとされる首敷皮と自作の祖师像を安置した敷皮堂を建立、これが龍口寺の始まりと伝わっている。境内には「日蓮聖人像」「大本堂」や「五重塔」等があり、歴史と信仰の深みを感じられる寺であった。

ここで今回の鎌倉探訪を終了解散し、おの江の島駅より江ノ電に乗り藤沢駅まで。参加者皆さん江ノ島腰越街歩き満喫できたことと思う。

(神奈川会 石川義明)

男声合唱クラブ

男声合唱クラブ(フェローチェ..

イタリア語で「獐猛な」という意味)

は2025年より、日退協の同好会

として活動を開始致しました。

フェローチェは2010年に結成

以来、「獐猛」とは程遠い優しいオ

ジサン・お爺さん達でポピュラーか

らクラシックまで幅広いレパート

リーを目指し、日夜練習に励んでお

ります。

特に年2回小平市で開催される小

地域会・広島支部だより

神奈川会

■第77回神奈川会イベント

雪印メグミルク海老名工場見学

(6月20日 参加者18名)

小田急線厚木駅に午後1時に集合。炎天下、駅前の市道を約1km南下して工場に着く。約8万平方メートルの敷地に社員350名が勤務。

生乳は直径3・6m高さ12mのタンク10本に貯蔵され、約1000トン・180ccパックにすると50万本分相当となる。豊かな自然環境で育つ乳牛の恵みを受けて成り立つ企業を【雪印メグミルク】と命名したとか。工場の概要説明を受け2班に分かれて見学。乳搾り・輸送、受入検査と十数行程を経て牛乳・チーズ・ヨーグルト・バター等に商品化され送り出される。

衛生管理の行き届いたフロア2階・3階と見学。相手は水物、全てステンレス製のパイプラインと加工タンクの中で精製処理され製品は見



フェローチェ

平市合唱祭には全力で取り組んでおり、発表会終了後の美味しいお酒を生きがいとしている団員も多いようです。

指導者は、ソプラノ歌手の伴真純先生です。優しく力強い素晴らしい先生であり、伴先生の飴と鞭が無ければ生きていく価値は無いと団員全員が思っております。

歌が好きでも嫌いでも、一度是非練習の見学にお出でください。お待ちしております。

えない。自動化された工場内には作業員もあまり見えない。

見学を終え3種類の乳製品を試食、乾いた喉に美味かった。お土産の中に牛乳ミニパック形の消しゴムがついていた。無理もない、これは小学生の社会科見学コースである。全員元気に駅に戻り解散。懇親会は海老名駅地下で実施、無事解散となった。

(長澤征次)



雪印メグミルク海老名工場にて

■第78回神奈川会イベント

国本はる乃(浪花鑑賞会)

会場・鶴見区民文化センター サ

ルビアホール

(10月8日 参加者80名)

神奈川会のイベントは回を重ねて78回目。これまでは工場見学や名所旧蹟の散策や探訪などが大半で、会員の中からパターン化の指摘もあり世話人会の検討テーマでした。そんな中で女性の若手メンバーから浪花(浪花節)鑑賞の提案があり、賛否ある中で「とにかくやってみよう!」ということでスタートしました。

いざ動いてみると、集客の難しさに直面。友人、知人のネットを総動員しても当初の動きは鈍く「浪曲はダサイ」「古い」の声が多く、今この世界にも新しい動きがあることを力説しました。時を前後して、新聞紙上で浪花節復活や若手演者の台頭の記事が掲載され、当日の演者、国本はる乃さんが若手のホープとしての紹介があったりの幸運にも恵まれ、



国本はる乃さん

人気は上昇。80名近くの集客の報告があった時には思わず万歳。当日の受付も賑わいました。

今回出演の国本はる乃さんは29歳の女流浪曲師。和芸に通じた父親の影響で早くから浪曲に縁ができ、20歳で襲名披露した日本最年少の浪曲師。若手花形期待のホープさんです。

当日の演題は、「真柄のお秀」と「英国密航」の2題。きらびやかな衣装で登場かの思いに反し、何の気取りもないシンプルなファッション。立ち姿のまま演じるのが浪曲のスタイルと見聞きし納得でした。伴奏の三味線の方はきりっとした和服姿で椅子に腰かけ、良く通る力強い演奏に二人の息もぴったり！いざ始まると隣席の友人の「和製オペラだわ」のつぶやきに同感でした。

浪花節というと、俗っぽくて田舎臭い演芸と扱われがちですが、義理



会場風景

人情を重んじる演芸の奥の深さを改めて感じとりました。

今回この企画に関わる中で、日本の三大話芸と言われる講談、落語、浪曲(浪花節)の違いを有能な会員からの資料で知ることができ、個人的にも勉強になりました。会としても今後の企画立案の分野拡大に一石を投じた意味のある集会でした。

(豊田和子)

埼玉会

千葉県流山市旧市街地散策

(9月25日 参加者12名)

13:30に流鉄流山駅に12名(当初

参加者10名・世話人などの追加参加者4名の計14名で実施したが、体調不良等で2名不参加となった)が集合し、散策を開始した。

気温も28℃くらいで猛暑ではなく、快適な散策ができた。

まず、江戸川の堤防に出て、江戸時代に「みりん」を輸送していたと思われる「矢河原の渡し跡」を見学する。上流の方には彼岸花(虞美人草)が咲いていた。

旧道に戻り、土蔵造りの家や老舗の店舗を見ながら「浅間神社」・「流山万華鏡ギャラリー」を見学後、「閻魔堂」・「近藤勇陣屋跡」へ進み、「白みりんミュージアム」で約1時間、ビデオを含めた係員の説明を受けた。



白みりんミュージアムにて

休憩後、「杜のアトリエ黎明」・「光明院」・「赤城神社」と進み、平和台駅に到着。16:40の流鉄に乗り幸谷駅で下車し新松戸駅前で散策終了。

その後、17:00よりJR新松戸駅近くの居酒屋「元屋」で懇親会を開催。2時間ほど皆和気藹々と懇親し、19:00に散会した。(松本 浩)

西東京会

第70回イベント

「寄席・落語鑑賞会」

(8月26日 参加者16名)
西東京会では真夏と真冬は屋外イベントは避けて、屋内イベントを企画していますが、会場に来るまでの暑さ対策までは考えていませんでした。最寄駅から徒歩10分とはいえず、猛暑の中汗だくの集合でした。それでも16名の参加を得て感謝しています。

浅草演芸ホールは都内にいくつかある落語定席の老舗のひとつで、落語協会と落語芸術協会が交互に公演を行っています。前座から始まり、落語・漫才・コント・曲芸・講談など盛り沢山で飽きませんでした。最後に



浅草演芸ホール前にて

大喜利で観客からお題を頂戴しての「謎かけ」があり、「トランプ関税」・「甲子園」などのお題が出され、それに大喜利メンバーが即座に回答するのは「さすが！」と感動しました。

浅草演芸ホールは入れ替えがなく、夜の部そのまま鑑賞できるのが特徴で、昼の部が終わる頃には満席に近い入りでした。

その後10名の参加を得て懇親会が行われ、猛暑の中のビールは最高でした。
(橋本隆夫)

■西東京会主催懇親ゴルフ会
狭山ゴルフクラブ

(10月28日 参加者13名)

このたびの西東京会主催懇親ゴルフ



狭山ゴルフクラブにて

フ会では、幹事でありながら思いがけず優勝の栄に浴し、大変恐縮しております。まずはパートナーの小野さん、湊さん、そして小野さんのご令嬢石野裕子さんにお礼申し上げます。

絶好のゴルフ日和に恵まれ、紅一点裕子さんの同伴で和やかな雰囲気支えられながら終始落ち着いて楽しくプレーすることが出来ました。小野さん、湊さんの長年の経験によるテクニクに刺激をもらい、裕子さんのパワフルなドライバーには大いに元気をもらいました。参加者13名中10名が後期高齢者という事もあり4組中3組がゴールドティーを使用

用しました。ゴールドティーからの効果もあり、スコア94(48・46)は狭山GCでは久しぶりの好スコアでした。難しいといわれるシヨートホールでもパーが2個取れました。

振り返ってみますと、年齢とともにゴルフとの距離感も少しずつ変わってまいりました。若い頃は飛距離やスコアに一喜一憂し、力が入りすぎては深いため息をついたものでした。

しかし今は、無理をしない、焦らない、肩の力を抜くように心掛けております。今後もスコアを追いかけるよりも、健康第一・無理をしない・楽しむ気持ちを忘れない、そんな姿勢でプレーを続けてまいりたいと思います。
(塩山哲郎)

京葉会

■第62回イベント

「木更津でブルーベリー摘み体験と散策」

(8月20日 参加者14名)

目に優しいブルーベリー、木更津のブルーベリー農園で摘み取り体験をしました。



ブルーベリー農園で集合写真

10時に木更津駅に集合、マイクロバスをチャーターしての旅です。車中では地元出身の吉川副会長より木更津市の歴史についてお話がありました。

農園では経営者の江沢氏より説明を受け早速ブルーベリー摘み食べ放題の始まりです。昼食は地元の豪華な弁当です。希望者は自分で摘んだブルーベリーでジャム作り体験です。その後、麓の道の駅「くまたくの里」でそれぞれお買い物。

今回の特別イベントは当協会の西村康治専務理事が描き特別養護老人ホーム「矢那梅の香園」に寄贈した絵画鑑賞です。(地元、千葉新聞にも掲載)鑑賞後、施設内を見学させていただきました。そしてブ



寄贈した絵画の前で記念撮影 (西村画伯と)

熱のこもった名人芸に大いに感動していた。

年をとると感動することがより重要であり今後も落語・漫才などで笑っていききたいと思う。

16時に終演となり解散。その後有志で懇親会を実施した。

(伊藤真実)

広島支部

■ 広島支部の会員構成と活動状況

広島支部 広報情宣部会

広島支部が発足しておよそ33年になります。2025年3月末の会員総数は552人です。

正会員が414人、家族会員が132人、特別会員が6人、の構成です。

正会員の400名以上キープを目標に、会員増加の活動を積極的にしています。また、次世代の支部リーダーを発掘し強化するための「ホープ会議」を新設し、支部の課題と方針を話し合っています。

会員の平均年齢は78・1歳(5年前は76・5歳)で、男性が80・3歳(同77・0歳)で、女性が73・9歳

(74・4歳)です。男女構成比は男性66%(81%)、女性34%(19%)です。明らかに女性が増えていきます。今後もこの傾向は変わらないと思います。

女性を重要視した活動にシフトするため、まず、副支部長に女性登用を進めています。

広島支部は、約10の事業活動と、29の同好会活動を推進しています。この半年間で活動参加のトップ5は、二木会(555人)、カラオケ愛好会(364人)、卓球クラブ(232人)、エスキーツニス同好会(195人)、囲碁同好会(182人)となっています。

原則、第二木曜日に開催される会員交流の二木会は、会員や外部講師による興味深いテーマを1時間程度スピーチしていただきます。さらに新入会員の紹介や各種行事連絡や同好会活動連絡などがあります。アフター二木会として懇親会もあります。

二木会へのいざないとして「ウエルカム二木会」パンフレットを事前

に発行しています。カラオケ愛好会はとても人気のあ

る同好会で、月に2回、50人以上のメンバーにLINEで参加の有無を問ひかけ、参加者は6人ほどのチームに分かれて3時間ほど歌います。アルコールもOK。最後は全員が大きな部屋に集まり2曲合唱し、支部の唄を歌って解散です。

これからも健康的で有意義な活動が進むことでしょう。シニアライフに幸あれ。

(岩本忠司)

ルーベリーのお土産を持って木更津駅から帰路に着きました。

(増田正子)

■ 第63回イベント「落語鑑賞会」

(10月2日 参加者14名) 暑さも落ち着き外出日和のこの日、上野鈴木演芸場に12時集合。12時半開演を迎えた。

鈴木演芸場は都内の落語定席の一つで168年の歴史がある。京葉会ではここで3回目の開催となった。当日は落語の他マジック・漫才・ジャグリング・浮世節などの公演があった。会場の皆さんは愉快な話に久しぶりに大笑いしトリの古今亭文菊の



毎月約100人が入場する二木会受付

法人・団体会員名簿

(2026年1月1日現在) 50音順

- 片倉工業株式会社
- 幸信商運株式会社
- 五洋建設株式会社
- 新富産業株式会社
- JFEスチール株式会社
- 損害保険ジャパン株式会社
- 株式会社千葉興業銀行
- 株式会社千代田セレモニー
- 東京建物株式会社
- 内外汽船株式会社
- 西松建設株式会社
- 日本鑄鉄管株式会社
- 株式会社二友組
- ハーベスト株式会社
- ヒューリック株式会社
- 芙蓉総合リース株式会社
- プラスエンジニアリング株式会社
- 株式会社ブリッジス
- 文唱堂印刷株式会社
- 株式会社ベネフィット・ワン
- 丸大食品株式会社
- みずほ信託銀行株式会社
- 株式会社みずほフィナンシャルグループ
- 株式会社ミツウロコグループホールディングス
- 安田倉庫株式会社
- 安田不動産株式会社

役員名簿

(2026年1月1日現在)

役員	顧問・参与
会長 永濱光弘	顧問 関根貞夫
副会長 吉川敏孝	顧問 高島進一
理事長 塩山哲郎	顧問 谷口博
専務理事 石井憲	顧問 畠山忠昭
専務理事 西村康治	顧問 山鹿素雄
専務理事 伊藤春江	顧問 湯藤哲
常任理事 大友彰	参与 安藤隆夫
常任理事 末松孝一	参与 猪狩光也
常任理事 清水勝	参与 石川義明
常任理事 白井正明	参与 糸数富美江
常任理事 菊池正美	参与 井上国春
理事 長嶋良一	参与 岩淵芳夫
理事 出射義幸	参与 大里璋子
理事 秋山礼子	参与 倉片厚子
理事 尾形雅美	参与 遠間ひで子
理事 白石崇	参与 西村修
理事 館野操子	参与 福島龍郎
理事 恒成憲一	参与 藤崎大四郎
理事 西和範	参与 満田将太
監事 倉片隆	
監事 竹本秀一	

編集後記

協会に入会して、僅かな年月ですが、入会前から社会貢献、ボランティア活動には興味があり、地元の自治会、小学校の運営協議会などの、幹事の役割を永年担っています。小学生の登下校の見守り、グラウンドの草取り、遊具のペンキ塗り、地域の環境美化運動、長生会の役員など、定年退職後のライフワークとなっています。

六月の社員総会にて、事務局長の任に就かせて戴きましたが、会員になって間もないこともあり、協会のイベント等への参加経験も少なく、初めて経験する事ばかりです。

先日、「はつらつふれあいの集い」に初めて参加しましたが、とても素晴らしい盛り上がりで、楽しく参加させて頂きました。

イベントの準備を少しだけ、お手伝いをさせて頂きましたが、手作りのイベントで、幹事の皆さんを始め協力者の皆さんの、きめ細かな準備、対応が、つぶさに解り、頭が下がる思いで感謝の気持ちで一杯になりました。

他にも、様々なイベントが行われていますが、どれも手作りで、身近な話題や時代を反映した話題が数多く準備されていますので、皆さんにも是非、ご参加をお勧めします。

イベントには会員以外の方もご参加できますので、ご家族・友人知人の方とお誘いあわせの上、ご参加ください。

イベント会場お待ちしております。
(事務局長 西和範)

MATURITY・第一三三号

※無断転載を禁ず

二〇二六年一月二〇日発行

発行人 塩山哲郎

編集人 岸伸和

発行所 公益社団法人 日本産業退職者協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-13

TMYPビル10階

電話 〇三(六二四〇)九三八一

ファックス 〇三(六二四〇)九三八一

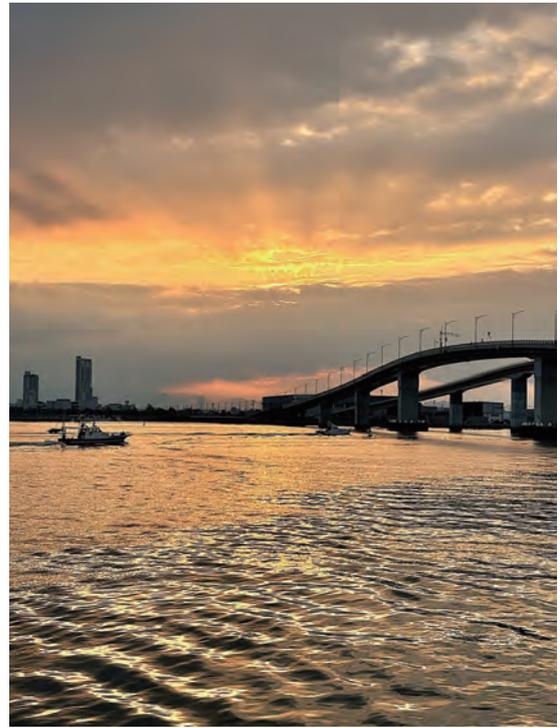
ホームページ <https://jarp.or.jp/>



▲モミジに彩られた裾衣

末本洋一（広島支部）

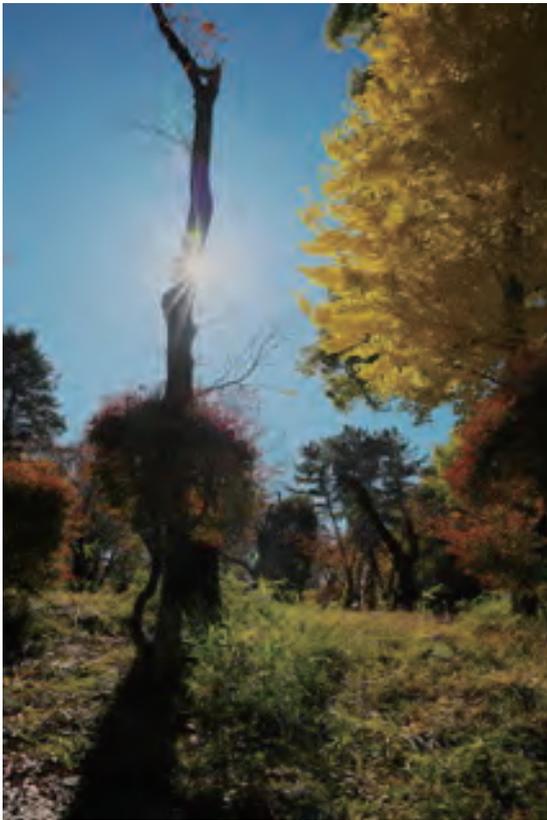
三滝寺の奥深く 一体の石仏が佇んでおられました。裾衣には モミジたちが集まっていました。晩秋 暮れなずむ頃でした。



▲夜明けの「広島市はつかいち大橋」

芦村健治（広島支部）

自宅から車で20分の廿日市港東、撮影定点の一つである「広島市はつかいち大橋」で夏は3時、春秋は4時起きで楽しんでいます。



▲盛秋光陽

田中英司（埼玉会）

写真は、時折訪ねる近くの公園です。黄色く色付いたイチョウの木と、秋らしい柔らかな空が気持ちよくて撮りました。



▲夕暮れの富士

出射義幸（西東京会）

秋の夕暮れ時に河口湖から見える富士山です。末広りの雄大さが感じられ、この時も多くの外国人旅行者でいっぱいでした。